

2022年12月8日

お客様各位

日本農薬株式会社

農薬登録のご連絡の件

首記の件、下記について登録されましたのでご連絡致します。

記

適用拡大 2022年12月7日付 (2件)

(1) フジワン粒剤

登録第 13276 号

使用量の変更: 稲(登熟歩合向上)/4 kg/10a ⇒ 3~4 kg/10a

【変更後】

作物名	使用目的	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イプロオランを含む農薬の総使用回数
稲	ムシ苗防止	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り 15g	は種前	1回	本剤の所定量を 所要量の育苗箱用の 床土に均一に 混和する。	3回以内 (移植前は 1回以内、 本田では 2回以内)
		育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り 25~50g	苗の緑化始期		本剤の所定量を 育苗箱中の苗の上から 均一に散粒する。	
	登熟歩合向上	3~4kg/10a	出穂10~20日前 但し、収穫30日前まで	2回以内	湛水散布	
	高温登熟下における 白未熟粒の発生軽減	4kg/10a				

* 注意事項の変更はありません。

(2) フジワン 1 キロ粒剤

登録第 20058 号

- ① 使用目的の追加: 稲/高温登熟下における白未熟粒の発生軽減(1kg/10a)
- ② 使用方法の表記変更: 稲(いもち病)/湛水散布、無人ヘリコプターによる散布
⇒ 湛水散布又は無人航空機による散布
- ③ 使用方法の変更: 稲(稲こうじ病、登熟歩合向上)/湛水散布⇒湛水散布又は無人航空機による散布

【変更後】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イプロオランを含む農薬の総使用回数
稲	稲こうじ病	1kg/10a	出穂 10~30 日前 但し、収穫 30 日前まで	2 回以内	湛水散布 又は 無人航空機 による散布	3 回以内 (移植前は 1 回以内、 本田では 2 回以内)
	いもち病	1~1.5kg/10a	葉いもちに対しては 初発 7~10 日前 穂いもちに対しては 出穂 10~30 日前 但し、収穫 30 日前まで			

作物名	使用目的	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イプロオランを含む農薬の総使用回数
稲	登熟歩合向上	1kg/10a	出穂 10~20 日前 但し、収穫 30 日前まで	1 回	湛水散布 又は 無人航空機 による散布	3 回以内 (移植前は 1 回以内、 本田では 2 回以内)
	高温登熟下における白未熟粒の発生軽減					

【追加する注意事項】

- ・ 稲の高温登熟下における白未熟粒の発生軽減を目的として使用する場合は、高温登熟条件下で効果的であるので、この条件下で使用する。

【変更する注意事項】

- ・ 朝露や降雨により葉がぬれている場合は、粒剤が直接葉に付着して薬害を生じるおそれがあるので使用をさけること。
- ・ 本剤を無人航空機で散布する場合は、次の事項に注意すること。
- ・ 無人航空機による散布で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意すること。

以上